

# 踏み出す新たな一歩 「信頼の経営」の実現に向けて

山陽特殊製鋼は80周年を迎えた2013年度も、さまざまな取り組みに注力しました。これからも時代の変化に的確に対応し、経済的使命と社会的使命を果たしていくことで、ステークホルダーの皆様からの信頼にお応えする新たな挑戦を続けていきます。

## 2013



### 金型の長寿命化を実現するダイカスト金型用鋼 「QDX-HARMOTEX」を開発

お客様企業の持続的発展と資源循環型社会の構築を目指し、環境負荷低減に貢献する新製品の開発・提供に力を入れています。2013年11月に発表したダイカスト金型用鋼「QDX-HARMOTEX」(キューディーエックスハーモテックス)もその一例です。

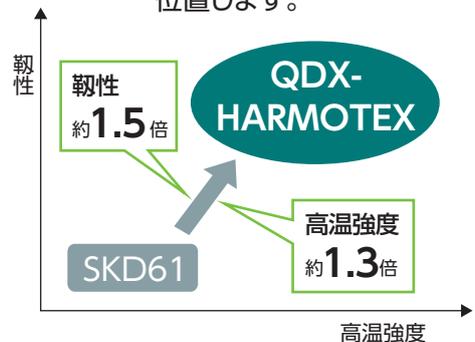
ダイカストとは、溶けたアルミ、亜鉛、マグネシウムなどの金属を高速・高圧で金型に注入し、瞬時に成形する技術で、寸法精度の高い製品を短時間で大量に生産することができます。ダイカスト製品は、自動車や産業機械、電子機器などさまざまな分野の部品として使われています。

近年、自動車の軽量化を目的にアルミ部品の高強度化・薄肉化が進むほか、生産性向上のため部品成形加工ピッチが短縮されるなど、金型にかかる負荷が増大しており、金型の素材となる鋼にはこれまで以上に安定した特性、高い信頼性が要求されます。「QDX-HARMOTEX」は高い靱性と優れた高温強度を兼ね備えた鋼で、靱性、高温強度ともにJIS規格鋼SKD61と比べ高い性能を保持しています。金型の大割れ発生を抑制するとともに、表面のき裂の発生と進行を抑制し、金型寿命の安定化および向上に寄与します。

金型の長寿命化を実現することで、お客様企業の生産性向上や金型費削減に加えて、省資源・省エネルギーに貢献します。

#### 「QDX-HARMOTEX」の位置づけ

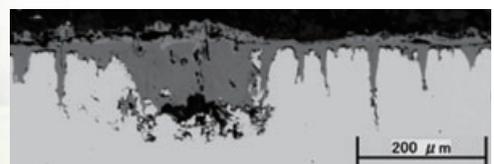
靱性、高温強度においてJIS規格鋼SKD61の上位に位置します。



QDX-HARMOTEX



SKD61



室温と600℃の加熱冷却を1000サイクル繰り返した後の試験片断面拡大写真。SKD61に比べてQDX-HARMOTEXでは、き裂の深さや欠けが軽減。



# 2013



## 創業80周年を記念して、工場見学会を開催、 従業員とその家族など約600名が参加

山陽特殊製鋼の80年の歴史は、山陽特殊製鋼グループ従業員とその家族、そしてこれまで当社を支えてきたOB従業員の努力、協力があることです。その感謝の気持ちを込めて、2013年11月から12月にかけて、山陽特殊製鋼グループ従業員とその家族、当社OB従業員などを対象に記念工場見学会を開催し、3日間で約600名が参加しました。

なかでも、山陽特殊製鋼グループ従業員とその家族向けの工場見学会には、想定以上の計456名の方が参加しました。参加した家族の方々は、普段目にする機会の少ない工場を熱心に見学していました。家族が働く職場の様子を知ることができる貴重な機会にもなり、参加者に大変喜んでいただきました。また、参加者に記念品を贈呈するほか、外部業者による出店や自動車の展示会なども行いました。



### 創業80周年記念ロゴ

当社の経営理念である「社会からの信頼」「お客様からの信頼」「人と人との信頼」の3つの信頼を表す3つの円、当社の主な製品のひとつである鋼管の断面、そして80(周年)の形を表現しました。



おかげさまで、  
創業80周年

こうした活動を通じて、当社は、これからも「社会からの信頼」「お客様からの信頼」「人と人との信頼」の3つの信頼の確立を目指し、創業100周年に向けてさらなる飛躍と挑戦を続けていきます。

